

# 木造軸組耐力壁の面内せん断試験



一般財団法人

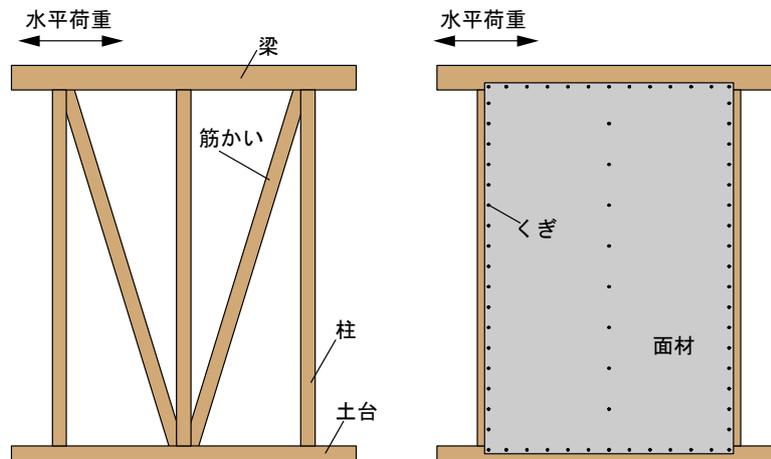
日本建築総合試験所

木造軸組耐力壁の面内せん断試験は耐力壁の倍率を評価するために実施します。

## 耐力壁の倍率とは

木造軸組耐力壁には、下図に示すように、柱、梁、土台で構成される軸組に筋かいを入れたものや面材(構造用合板等)を留め付けたものがあります。

木造軸組建物では地震や台風に対する耐力壁の必要量を定めるために壁量計算が用いられます。この壁量計算において、耐力壁が地震力や風圧力のような水平力にどのくらい抵抗できるかを示す指標が壁倍率であり、壁の長さ1m 当たり 1.96kN の水平耐力に耐えられる耐力壁を倍率「1」と定めています。



## 耐力壁の面内せん断試験

幅 1820mm, 高さ 2730mm 程度の木造軸組に、筋かいを入れたものや面材を留め付けたものを試験体として用い、繰り返し水平加力試験から壁倍率の評価を行います。



試験装置



破壊状況